

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	ハッピーテラス千駄木第三教室			公表日	2024年 12月 19日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・改善が必要だと思われる点など	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.00%	0%	限られたスペースのため、個別に対応できる部屋を確保することが難しい状況です。パーティションを使用して部屋を区切るなどして、適宜対応していきたいと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	66.70%	33.30%	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	第三者評価を行う事が出来ていませので、ガイドラインに沿った保護者向けアンケート(評価)をしっかりを行い、療育の質の向上と業務改善につなげています。  さらなる職員の資質の向上を図るため、新たな研修制度を構築しました。積極的に新しい知識や技術を取り入れて、療育の質の向上を目指します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	
適切な支援の提供	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	義務化に先駆けてホームページにて既にプログラムの公表を行っています。  個別支援計画の作成にあたり、モニタリング、アセスメント、ケース会議、原案作成などの正しい手順を踏み、より精度の高い適切な支援計画(支援目標)の作成を心がけております。  朝礼、終礼以外でも、各個別療育・集団療育の実施の後には、特記事項などを報告しあい、情報を全員で共有し即時対応するよう心がけております。  日々の支援日誌は全てコンピューターに記録されおり、いつでも共有・参照することができるようになっています。継続性のある支援、適切な課題の選択に役立つ他、支援の検証・改善に役立っています。  また場所と時間の制限を受けない形で情報共有が促進されるようビジネスチャットツールを全教室で導入しています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	保護者からの希望や必要性に応じて、事業所間連携及び関係機関連携等を行っていく予定です。連携の方法や手続きに関しては行政の指導を受けながら進めています。  モニタリング等でセンター職員が来所したい際はできる範囲で、支援に関する相談や助言を受けるようにしています。またハッピーテラス本部より半年に一度、訪問研修がありスーパーバイズを受けています。  管理者および児童指導員には教育センターが主催する福祉事業所連絡会、児童支援ネットワーク会議への積極的な参加を促しています。  地域との交流活動に関して、保護者からのニーズが無い為、具体的な取り組みは行っていません。それぞれ通われる園やお住まいの地域でのイベントに、楽しく参加されるのが良いかと考えています。  事業所では体系的なペアレントトレーニングは行っておりません。療育後や面談時に必要に応じてご相談にお答えする様にしています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	66.70%	33.30%	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	運営規定や重要事項説明書等は契約時の説明に加えて、いつでも手に取って確認できるよう事業所入り口に設置しています。  個別支援計画の面談だけでなく、要望に応じて事業所内相談を受けれるようにインフォメーションをしております。  SNSを利用した情報発信はしておりません。必要な連絡は事業所に掲示する、来所時に保護者へ直接お伝えするようにしています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	66.70%	33.30%	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種マニュアルは策定されていますが、十分に実用的なものではありません。今後実用に向けて改定が必要と考えています。  年2回の自衛消防訓練を行います。 教室が2階にある為、災害時等の避難・救出に関しては十分な計画と訓練が必要と考えています。必要に応じて所轄消防署に相談して訓練指導を受ける予定です。  安全計画に基づき、各種マニュアルの整備、訓練研修の実施を行っています。しかしながら安全計画はまだブラッシュアップが必要と考えています。  ヒヤリハットに関しては自教室に止まらず3教室で共有し再発防止、事前事故防止に役立っています。  虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。  どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	